

本のポップを作って交流しよう

2年 国語

「本の世界を楽しもう」

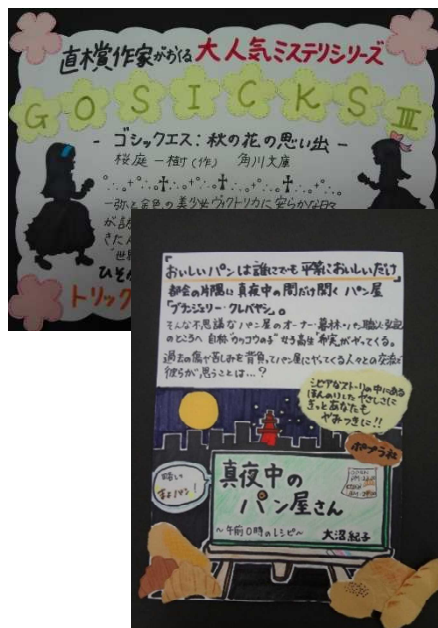
読書指導・資料の活用

ねらい

- 読んだ本のポップを作って、その本のよさを伝えることができる。
- 情報を整理して、目的や意図に応じて効果を考えながら表現することができる。

学習展開

- ① 書店や図書館にあるポップ、昨年までの生徒作品を紹介する。
- ② 今まで自分が読んだ本の中から、ポップを作る本を選ぶ。
- ③ 本の内容の情報を整理して、ポップの見本や観光パンフレットなどを参考にして、効果を考えながらキャッチコピーやレイアウトを工夫する。
- ④ 完成したポップを使って友達に本を紹介し合う。



生徒が作ったポップカード

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は授業者と相談して、多様な資料準備を行う。
- 学校司書は作品成果物を提供し、保存する。
- 司書教諭は、ポップの目的や効果の説明を行う。
- 司書教諭と授業者はワークシートの形式について話し合う。
- 司書教諭、学校司書は、ポップを作る活動をT2、T3として支援する。

★指導のポイント

- ◆ 書店や図書館内にあるポップを見本として紹介する。
- ◆ 図書以外の資料（広報紙や観光パンフレットなど）の存在にも目を向けさせ、活用する機会とする。
- ◆ 完成した作品は図書館にも保存し、展示する。

資料

朝日中高生新聞
各種広報紙（「県政だより」「市（町）報」）
各種観光用パンフレット・リーフレット